

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 4月 6日

事業所名 放課後等デイサービス にこり

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	3	パーテーションなどを使用して、活動に集中しやすい環境作りを努めています。	広い一面なので仕切りがあった方が良い。
	2 職員の配置数は適切である	5	0		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	5	手摺の設置や車いすの方でも入りやすいようにスロープがあります。	室内に段差があり、踏み外しそうになるのでなくした方が良い。高い登り場があるのでフラットにした方が良い。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2	職員会議、ケース会議を行っています。	意見が少ないことや出ないこともあり、会議以外でも、時間を取れる時には意見交換を行う必要があると思います。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	0	5		昨年度から放デイを始めたので、今年度より行っています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0	5		昨年度から放デイを始めたので、今年度より行っています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5		現在は行ってないが、今後検討していく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	毎月会議の中で、支援方法など話し合っています。また、園内研修を行っています。	回数が少ないので、内容を充実させてほしい。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	保護者の方にお話を伺って計画の作成を行っています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0		放デイ用に内容を変更したアセスメントシートを使用しています。変更が必要な場合には、内容の検討と変更を行います。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1		個々での話し合いになってしまうことがあるので、チームでの話し合いの場を設ける必要があります。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0		基本的には、大きな変更はせずに利用者さんが安心して過ごせるように努めています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2	長期休暇は、時間を多く使えるので、散歩や外での活動を増やすようにしている。	大まかな設定になっているかもしれないので、時間の使い方など細かく設定していきたいと思っています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		個別活動が優先されていることがあるので、集団活動にも意識して計画の作成を行う必要があると思います。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	0	5		支援が始まってから役割を決めることが多いので、事前に確認を行うようにしたいと思います。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	0	5		一日の振り返りをする時間を設けて、そこで出た意見や改善点の共有を行いたいと思います。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	必ず毎日の記録を取っています。	支援の改善が必要と思われる場合には記録の見直しや全職員の周知のために使用します。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	ケース会議の中で、支援内容についての検討を行っている。	半年に一回モニタリングを行い、支援の見直しを行っています。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	1			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0		基本的に児童発達支援管理責任者が会議に出席している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	学校の校舎の一部を借りているので、連絡を取りやすくなっています。	学校が近いので、情報の共有などは比較的スムーズに行えていると思います。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	5	学校の看護師さんからその日の体調等確認し、利用可能と判断があった際には、受け入れを行っています。	看護師資格を持つ職員がいないので、医療的ケアは行えません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	3		他事業所との情報交換は行ってます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	5	日々の記録のまとめを行い提供できるように準備をします。	まだ卒業生がいないため行えていないが、必要に応じて、情報提供を行えるように準備をしておく必要があります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	5		今後、児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し研修を受けていきたいと考えている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5		現在、障がいのない子供との交流は行えていません。迎えの際に学校の中を通らせてもらっているので、その際に挨拶する程度の関わりはあります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	5		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	1	お迎えの際に、利用時の様子を伝え、お家での様子も伺うこともあります。	基本的には、モニタリングの際に、課題や状況についてのお話を伺っています。変わったことがあった際には、その都度確認をさせていただきます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	5		ペアレント・トレーニング等の支援は行っていませんが、事業所での関わり方などできる範囲でアドバイス等させていただきたいと思っています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1	契約の際に行っています。	わかりにくいこともあると思いますので、再度確認があった場合は、ご説明させていただきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	0	5		保護者の方が求めている助言や支援を行えるようにしていきたいと思っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5		現在行えておりません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	相談窓口を設置しています。	当事業所での相談窓口の設置や第三者委員会の連絡先を周知し、相談があった際には、適切な対応を心がけていきたいと思っています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	0	5		今後、会報やブログでの情報発信を行いたいと考えています。
	35	個人情報に十分注意している	5	0		個人情報が外に出ることのないように、取り扱いに注意しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	1	言葉以外にも絵カードやジェスチャーを使って意思確認を行っています。	一人一人に合った意思の疎通の方法を検討していく必要があります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5		学校の敷地を使わせていただいているので、地域住民の方を招待することは難しいです。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1		個別で対応マニュアルを渡している方はいますが、全体の物がないので、作成し周知したいと思います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	0	5		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	園内研修を行い、日頃の支援の振り返りを行っている。	支援の仕方について検討し、職員同士で意見を出し合う必要があると思います。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0	5		現在、身体拘束の必要な利用児童はいませんが、今後早めの対応ができるように、対応方法の検討を行いたいと思います。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	アセスメントの際にお話を伺っています。	アレルギーの有無は事前に確認し、個別に対応が必要な場合は、指示書に従って対応します。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	ヒヤリハット事例集を作成している。	情報はすぐに共有し、会議の際には、再発防止について検討を行っています。